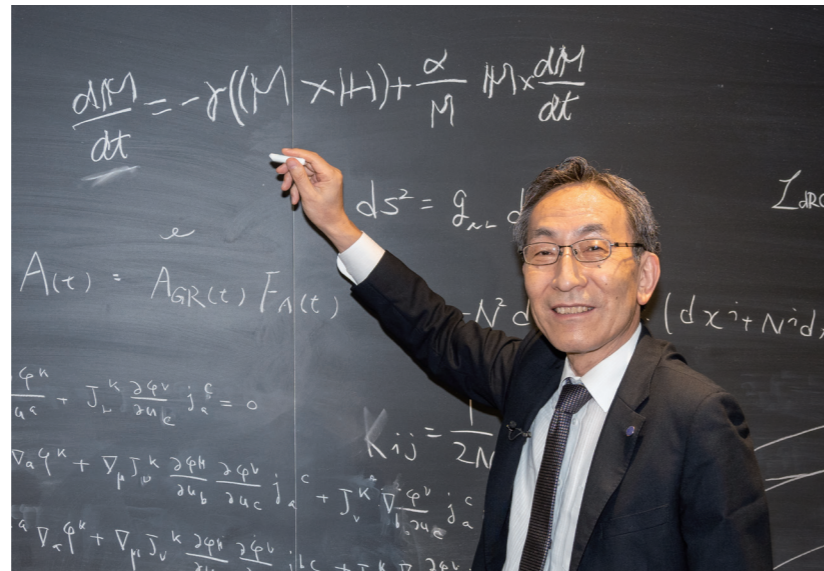




国立大学法人 東北大学
総長 大野 英男

Hideo Ohno



「研究第一(主義)」「門戸開放」「実学尊重」の理念で 次の100年を社会と共に切り拓く大学

創設から115年、総合大学として100年の歴史を刻む国立大学法人 東北大学。
同大学の理念と未来に向けた取り組みについて、総長の大野 英男氏が語った。

創設から社会と共に歩み115年 ダイバーシティを信じて進化

杜の都 宮城県仙台市は、若く優秀な学生が集う学都としても名高い。国立大学法人 東北大学は、東北帝国大学として1907年に創設。以来、数々の優秀な人材を輩出しながら、2022年に創設115年を迎えた総合大学だ。

「当時はまだ日本が貧しく、国立大学といえどもすべてを国の予算だけで設立することができませんでした。本学は、宮城県や民間企業の支援を得ながらつくられた大学なのです。現在でも、創設当初から社会と共に歩んできた大学だと、常に思い起こしながら行動しています」(大野氏)
東北大学には建学当時から今に至るまで「研究第一(主義)」「門戸開放」「実学尊重」の伝統・理念が貫かれている。

「私たちが世界で一流の研究をしていることは、学生に向けた教育に反映することを含めて社会からの信頼の基礎となって

います。これが『研究第一(主義)』です。研究を深めていくと、社会の役に立つ芽が生まれます。『実学尊重』は現在の言葉で社会価値の創造と言い換えられます。深い研究の成果が広く国内外の社会価値につながるという理念です」(大野氏)

同大学は国際司法裁判所、国際海洋法裁判所、国際刑事裁判所の判事を輩出。これは世界的にも少数の大学に限られており、法学分野でも「実学尊重」の理念が発揮されている。

1913年には、日本の大学として初めて3人の女子学生が入学した。

「国から再考するようにと示唆する文書が現在も残っています。初代総長が、女性が入学してはいけないという規則はないとして、門戸を開放したことは本学の大きな誇りです。また、当時の大学は旧制高校からしか入学できませんでした。本学は専門学校や高等師範学校の卒業生も初めて受け入れました。『門戸開放』、すなわちダイバーシティの力を信じるという思いが私

たちの伝統となりました」(大野氏)

2022年4月には「東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DEI) 推進宣言」を発売した。これは、さまざまなバックグラウンドや思考を持ったグローバルで多様な学生を公正性を持って、包摂して大学に受け入れようという考えだ。ダイバーシティの力を信じる方策はさらに進化を続けていく。

データとデジタル技術により 時代を拓く

同大学は1922年に法文学部が開設され、人文学系を含む総合大学として100年を迎えた。この歴史を未来に紡ぐため、3つの理念を伝承しながら今後の100年を見据えた構想を打ち出している。

「これからの100年を築く土台は、データとデジタル技術です。DXで社会・世界とのつながりを拡張し、新たな時代を切り拓く大学を目指し、2020年に『東北大学コ



学生寮「ユニバーシティ・ハウス青葉山」の学生



次世代放射光施設 (ナノテラス)

ネクテッドユニバーシティ戦略」を策定しました。サイバー空間を活用して、大学の研究・教育・社会共創の活動領域を一気に拡大していきます。リアルなキャンパスだけでなく、サイバー空間にも東北大学が広がるイメージです。国内外から研究や教育に参加する人が増えてきています。国境や文化、さまざまな障壁を越えて世界に広がる大学を目指しています」(大野氏)
リアルな留学が難しかったコロナ禍においては、海外の大学と連携し、オンラインによる国際共修の講義での単位取得も可能とした。

「研究分野では、東北メディカル・メガバンク機構を通じて健康な住民のゲノム情報を収集させていただいています。これはデータ活用の取り組みの一例です。約15万人の情報には、世界的に例のない3世

代にわたる住民の貴重な情報も含まれています。私たちが持つ健康な方々のデータが基準となり、病気の方々のデータと突き合わせることで、さまざまな疾病の理解が飛躍的に進むことから、民間からも注目されています。健康寿命の延伸にもつながります」(大野氏)

同大学は東日本大震災の被災地に立地する。医療を支える人の求心力向上や、さらなる産学連携の促進、雇用の創出に取り組むことで、医療復興を成し遂げるためのサポートを続けていく。

日本を代表する大学として 社会との共創を確立へ

同大学はリアルなキャンパスを中心に、社会価値を共創するとともに社会課題を

解決するプラットフォームづくりを目指している。

「青葉山キャンパスに次世代放射光施設 (ナノテラス) を中核に、産学官が集結して社会価値を創造する共創の場をつくっています」(大野氏)

今後もサイエンスパーク型研究開発拠点の整備、産学連携など、積極的に推し進めていく考えだ。

「これまで日本を代表する大学として歩んできました。今後はこれを基盤に『成長する公共財』として研究教育活動の拡張と資金の好循環を一体のものとして、これからの100年、さらに社会に貢献していく考えです」(大野氏)

未来に貢献する研究成果や優れた人材を育みながら、同大学の掲げる確かな理念は大きく広がっていく。

国立大学法人 東北大学

【住所】〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 【電話】022-217-4816 【HP】<https://www.tohoku.ac.jp>

- 設立: 1907年
- 学生数: 17,591名 (留学生1,732名含む・2022年5月1日現在)
- 役員・職員数: 6,398名 (2022年5月1日現在)
- 代表者: 総長 大野 英男
- 学部 (10): 文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、農学部
- 大学院 (15)・研究所 (6)・大病院

BS12 トゥエルビ
BS12 TwellIV [全国放送]

9月11日(日)
13:00~放送

サンテレビ
サンテレビ [兵庫県・大阪府全域]

9月12日(月)
22:00~放送

ビジネス情報番組
賢者の選択
FUSION

一人の思いが世界を変える。
<https://kenja.jp/>

賢者の選択

Webサイトでも視聴できます

企画/矢動丸プロジェクト